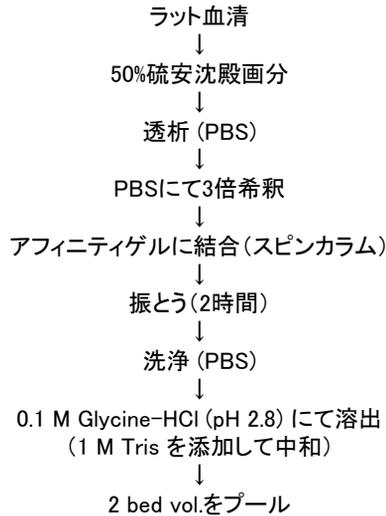
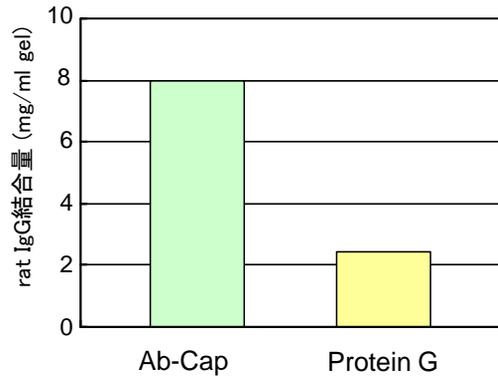


Ab-Capcher™を用いた ラット血清IgGの精製

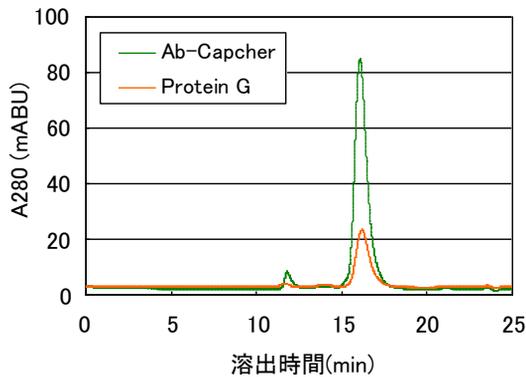
精製の流れ



各種アフィニティゲルのラット血清IgG結合量

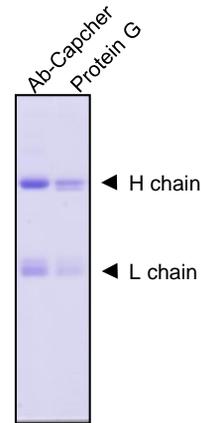


各種アフィニティゲルで精製したIgG画分の分析



ゲルろ過HPLC

サンプル: ラットIgG溶出画分 10 μ l
 分析カラム: G3000SWXL
 buffer: 35 mM Na-Pi, 0.5 M NaCl, pH 7.0
 流速: 0.5 ml/min



SDS-PAGE

サンプル: ラットIgG溶出画分 0.5 μ l
 ゲル: 12.5% (Tris-Glycine)
 染色: CBB

ラット血清を50%硫酸分画した後に、そのPBS透析画分をAb-Capcherと市販プロテインGゲルに添加し結合させた。Ab-Capcherはラット血清IgGに対して市販プロテインGゲルの約4倍の結合量を示した。溶出画分中のIgGの純度はプロテインGゲル 93.0%に対してAb-Capcherは95.0%(ゲルろ過)と高い値を示した。

以上の結果より、Ab-Capcherは市販プロテインGゲルの4倍量の高純度ラット血清IgGを精製できることがわかった。

プロテノバ株式会社

〒769-2604
 香川県東かがわ市西村1488番地1
 TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703
 ホームページ <http://protenova.com>